

1 つには、一番混雑している中心部には通過交通など関係のない車はあまり来ないようにしてくださいということで、都心の外側の黄色い部分では通過交通を排除する。そのためには、通過交通を収容する環状道路や都心の周辺道路をきちっと整備することが大前提です。直接関係のない車はそういうところに誘導して、迂回していただくということです。それから、真ん中、駅前の停車場線ですが、ここは歩行者、自転車、公共交通中心になりますので、その沿道にお住まいの方は地下の駐車場に止めて、あとは公共交通あるいは徒歩という形です。都心に用事のある方も、周辺部の駐車場まで車で来ていただいた後、歩行あるいは公共交通に乗り換えていただく。ヨーロッパではこのやり方がごく普通です。いろいろなヨーロッパのまちを見て気づきましたが、この 20~30 年間、相当な投資をして都心を通る主要な道路や駐車場を地下に回して、地上を人と公共交通に開放しています。

私どもの大きな提案は、停車場線を中心に都市の軸をつくり、そこを歩行者、自転車の空間にしましょうというものです。公共交通は入りますので、トランジットモールという言い方になっています。こんな形のイメージになります。その中には新しい交通手段、アイユニット (i-unit) 的なものなど、楽しい乗り物もあっていいのではないかと思います。

9 つ目の目標は、「ITS (ソサエティ) を活用し、人と車の未来を見せる『かしこい交通社会』を実現する」。技術をうまく使うということでは、ITS。いかにその技術を生かして新しい「かしこい交通社会」をつくるかということです。ITS を市民の生活、私どもの生活の中に役立てなくてはいけないと思っていて、ぜひともこういった形でやっていきたいと考えています。

【将来イメージ】

以上のことをまとめた豊田市都心部将来構想図です。上から見たイメージ図ですが、緑と中心の軸が強調されています。こういった考え方の中で都心を考えたらどうかということです。こちらは鳥瞰図的な形になっています。こんな形で部分を重点的にやりながら、今のような方向を目指したらどうかということです。





